

平成21年9月28日

横浜市教育委員会
教育長 田村 幸久 様

「大池小・ひかりが丘小」小規模校再編検討委員会
委員長 中野 保弘 (印省略)

大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編に関する意見書(中間)

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、大池小学校・ひかりが丘小学校の小規模校の再編について検討するため、本年4月に設置されました。

この度、以下の事項について意見をとりまとめましたので、申し述べます。

なお、新校の特色づくり等につきましては、後日別途申し述べます。

1 小規模校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化しているひかりが丘小学校と今後小規模校化が見込まれる大池小学校の2校を再編統合すべきと考えます。

ア 小学校の通学区域

現在の大池小学校、ひかりが丘小学校の通学区域を合わせた学区とします。

イ 中学校の通学区域

現在指定されている上白根中学校について、統合後においても現状のままとすることが望ましいと考えます。

(2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の大池小学校が適当と考えます。

イ 再編統合の時期は、統合に向けての十分な準備期間を確保する観点から、平成23年4月が適当と考えます。

2 統合校の学校名

統合校の名称は、「四季の森小学校」とすることが適当と考えます。